

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
内部障害系理学療法評価学演習	PSP22-009	必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
元山 美緒 他	D320	mio.motoyama	水曜日 10:40-12:10		
授業の目的・概要	講義を通して内部障害理学療法に関連する疾患の知識およびその評価方法を習得する。疾患の病態生理を理解し、適切な理学療法評価を選択・実施できるようにすることを目的とする。内容は内部障害理学療法に関連する評価法の知識及び実施方法について講義を行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	これまでの内科学・解剖学・生理学・運動学の知識も必要となるので復習してから授業に臨むこと。				
教科書	15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第3版 15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 内部障害理学療法学 循環・代謝 第2版 編：石川 朗 / 中山書店 / 2020				
参考書	病気がみえる vol.2 循環器 第4版/MEDIC MEDIA 病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝内分泌 第4版/MEDIC MEDIA 病気がみえる vol.4 呼吸器 第2版/MEDIC MEDIA				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	内部障害疾患を呈する患者の理学療法評価に必要な基礎知識を説明できる。			RH (2) ~ (6)	
②	内部障害理学療法に関連する疾患についての評価を理解し、説明することができる。			RH (2) ~ (6)	
③	内部障害理学療法に必要な理学療法評価を選択することができる。			RH (2) ~ (6)	
④	理学療法評価から問題点を抽出・列挙ができる。			RH (2) ~ (6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	内部障害理学療法学の総論について学ぶ。	[担当] 元山	講義	内部障害の疾患について内科学の復習を行う。	1
2	呼吸器疾患の理学療法に必要な解剖学・生理学・運動学を学ぶ。	[担当] 元山	講義	呼吸器の解剖学・生理学・運動学について教科書等で予復習を行う。	1
3	呼吸器疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当] 元山	講義	呼吸器疾患について教科書等で予復習を行う。	1
4	呼吸器疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ①	[担当] 元山	講義/実技	呼吸器疾患への評価方法について教科書等で予復習を行う。	1
5	呼吸器疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ②	[担当] 元山	講義	呼吸器疾患の基礎知識、評価方法を教科書等で予復習を行う。	1
6	循環器疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当] 大塚	講義	循環器疾患について教科書等で予復習を行う。	1
7	循環器疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当] 大塚	講義	循環器疾患の基礎知識、評価方法を教科書等で予復習を行う。	1
8	呼吸・循環器理学療法の確認テストを行う。	[担当] 元山	講義	これまでの復習を教科書や資料を用いて行う。	1
9	腎不全・腎臓病の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当] 大塚	講義	腎疾患について教科書等で予復習を行う。	1
10	腎不全・腎臓病の理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当] 大塚	講義	腎疾患の基礎知識、評価方法を教科書等で予復習を行う。	1
11	代謝性疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当] 関根	講義	代謝性疾患について教科書等で予復習を行う。	1
12	代謝性疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当] 関根	講義	代謝性疾患の基礎知識、評価方法を教科書等で予復習を行う。	1
13	がんリハビリテーションに必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当] 関根	講義	がんについて教科書等で予復習を行う。	1
14	がんの理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当] 関根	講義	がんの基礎知識、評価方法を教科書等で予復習を行う。	1

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

15	内部障害理学療法学の総復習を行う。	[担当] 元山	講義	これまでの総復習を行う。	1		
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	20	70
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	5	15
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施して評価する。授業で使用した教科書や資料の内容を基にした問題を出題し、理解度の確認を行う。		試験結果の開示 必要に応じて解答の開示と解説を行う		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	呼吸器、循環器の範囲で中間試験を行い、理解度の確認を行う。		試験結果の開示 必要に応じて解答の開示と解説を行う		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	関根 聡美、大塚 篤也						
教員の実務経験	理学療法士として急性期病院での臨床経験、かつ内部障害分野における実務の経験あり。						
実践的授業の内容	講義を中心にグループワークを取り入れつつ内部障害を対象とした理学療法の基礎的知識及び評価の説明を行う。						
そ の 他	*実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。 *全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 今後、感染症等の状況によって再度シラバスの変更がある可能性がある。						